

校長室だより



令和2年6月22日
校長 齋藤 瑞穂

色別下校は何のため？

6月20日の土曜授業日には、色別下校がありました。同じ通学路で登下校する仲間の顔と名前をおぼえられましたか？1年生は、一人でも二人でも、同じコースの6年生（6年生のいないコースは5年生でもよいですよ）の顔をおぼえられたでしょうか。

ふだんは一緒に登校したり下校したりすることはないのに、なぜ毎年、色別下校をする日



を設けているのでしょうか。土曜日にお話ししたことを思い出してください。2年生以上の人たちは、もうよく分かっていますね。色別コースの仲間は、「命を守り合う仲間」でもあるからなのです。

実際に昨年度も、あまり遠くない地域で不審者の情報があつたとき、先生方の先導で色別の集団下校をしましたね。いつもは一人か仲良しの数名で下校しても、シルバーさんの見守りでそれほど危険を感じることはないでしょう。しかし、刃物をもった人が現れたとか、急に雨風が強まる恐れがあるとかいうときには、集団で行動することで、犯罪をふせぐことになったり予想外の事態が起きたときすぐに周りに助けを求められたりするので。だから、色別コースの仲間とは、ふだんからお互いに顔や名前を知り合っていてほしいのです。

また、土曜日は、「ピーポー君子ども110番の家」もたしかめて帰りました。登下校中、何か面白いことや困ったことにあつたとき、みなさんの避難を受け入れてくださる地域のお家です。よく

覚えておきましょう。そして、そのお家の方にお会いすることがあつたら、感謝の気持ちをこめて明るくあいさつができるとういのですね。

6月21日は「夏至」でした。

夏至今日と 思いつつ書を 用ぢにけり

高浜 虚子

夏至とは、一年の中で一番、昼（日の出から日の入りまで）の時間が長い日のことを言います。東京では、昼の長さが14時間34分ですが、北海道の札幌では15時間23分で、北へ行くほど長くなります。世界には、「白夜」という、陽がしずまない夜を過ごす地域もありますよ。みなさんも、最近では外がいつまでも明るくて、気付いたら家に帰る時刻をとっくに過ぎていた！なんてことがあつたのでは？

ちなみに、今年のように日食と夏至が重なつたのは、計算上、1648年（慶安元年 江戸幕府三代将軍徳川家光の頃）以来だとか。なんと、372年ぶりのことなのです。

夏本番はこれからですが、昼の長さは夏至を境に少しずつ短くなっていきます。興味をもつた人は、毎日の日の出・日の入り時刻を新聞などで調べてみるとよいですよ。

前回のクイズの答え・・・花はスイレン。職員室前の観察池（ピオトープ）に咲いていますよ。

保護者の皆様

子供たちは「命を守る学校ルール」に少しずつ慣れ、すすんでまめに手洗いする子の姿も多くなっています。一方で、気が緩み始めたのか、健康カードや検温を忘れてくる子も増えているのが残念です。

朝お子さんを送り出す際、今一度健康カードの確認をお願いいたします。

